



山本りゅう

ROUTE 前橋 市政継続

市民サービスにはお金が必要です。私はやりくり(無駄を減、税収を増、民間活力)をしながら、市民負担を増やさず、暮らしを支え、健康を守り、経済を回す投資を行ってきました。
責任をもって市行政のリーダーとして全国的にトップレベルの前橋の「生きやすさ」をさらに伸ばして行きます。
私は「公平な心」「決断」「スピード」をもち
2020マニフェスト”を実現します。

約束 高校生までの医療費無料化を決定

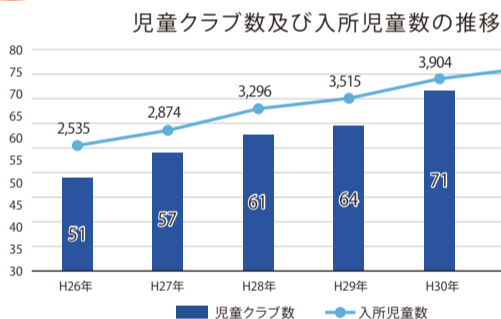
予算額 (ごみの減量によって生み出した3億円から充当します)
2億円 学校の部活での怪我や病気、高校生の医療費を応援していきます。

幼稚園、保育園、子ども園に運営支援員の配置

予算額 (国の補助75百万と子育て無償化で浮いた財源を充当します)
1.5億円 さまざまな業務が保育の現場に集中しています。保育士や幼稚園教諭の不足は深刻で施設の入園定員も、未満児保育もスタッフ不足で出来ない状況です。保育現場の環境改善が急務です。

学童保育6年生まで拡大中。働くお母(父)さんも安心

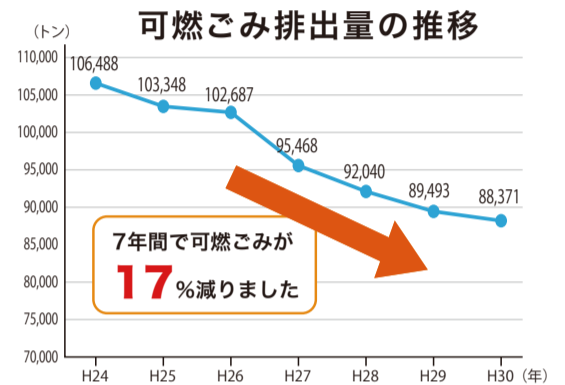
出来ました 病児病後児の預けられる施設も4カ所目が完成



私の任期の間で学童クラブを頑張って増やしてきました。働くお父さんやお母さんの応援になるからです。今では99%の小学生が6年生まで通えるまでになりました。インフルエンザでも預けられる施設も市内に増やしていきます。

御礼 ゴミが減少！延命化修理で六供清掃工場は25年間大丈夫です！

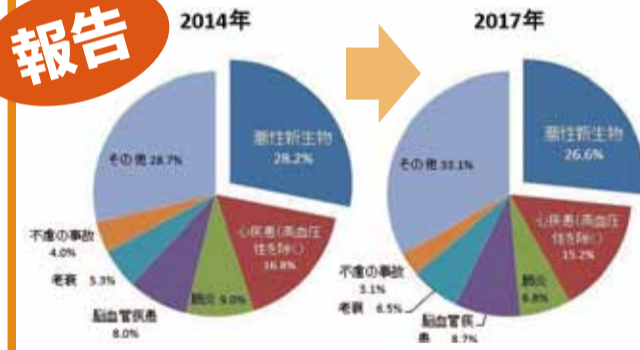
ゴミは減らすのは市長の責任です。今後も市民のゴミ分別や減量をお願いし、古紙・古着・ペットボトルなどの集団回収への奨励を進めます。下増田サッカー場は残せません。しかも、2炉の廃止で貴重な財源3億円が生まれました。



大胡 亀泉が廃止。浮いた財源は **毎年3億円**

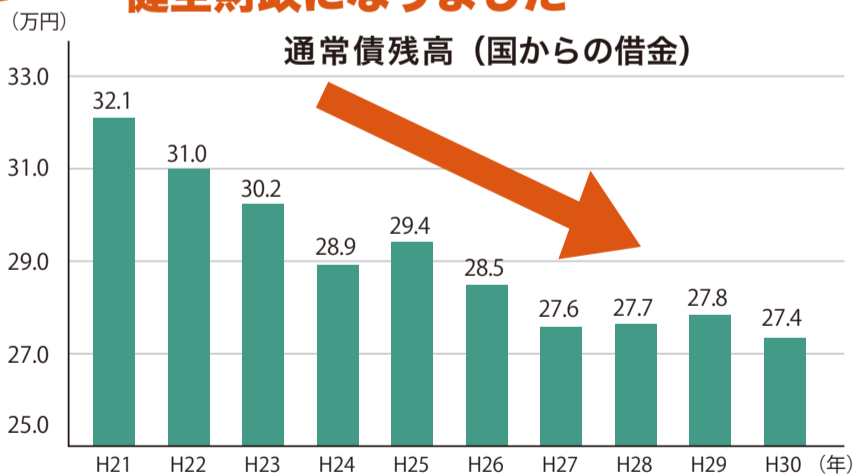
がん検診受診率が第1位(指定都市・中核市)になりました。

報告



私の市長就任からがん検診の無料化を実施し、検診⇒早期発見⇒早期治療を呼び掛けてきました。その結果、受診率の増加と同時に死因に占めるがんの割合が少しずつ減少しています。
病気が減れば、国保料に引き下げも可能です。

報告 やりくりを続け 国からの借金を減らし、健全財政になりました

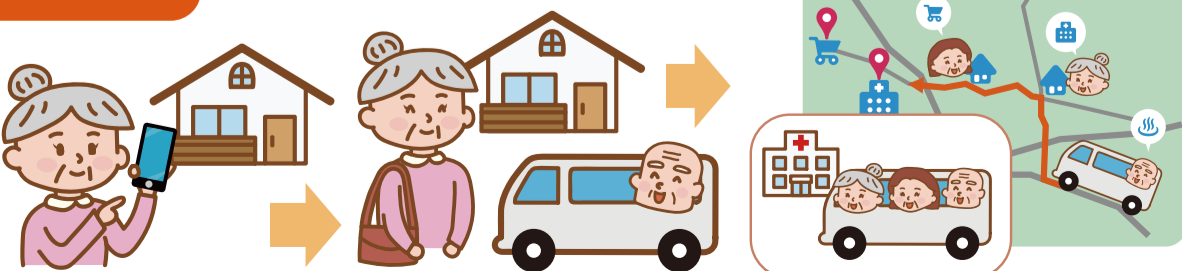


約束 若者の結婚の出会いと働く場を作ります

- 市役所が運営する無料の結婚相談センターをスタート
- 新産業団地を造成し産業誘致します。(西善中内、南部、清里、宮城、既存団地拡張など)
- 事業所税の還元制度の創設で企業経営を支援します
- デリカ産業の食物残差の減量化やリサイクルを支援します
- 小口資金における信用保証料の全額補助期間を延長します
- 高齢農家への補助や6次産業化を応援(前橋の逸品)します
- 農業用施設への償却資産税を減免します

2022年に実現!

マイタクで買物も通院も安心



マイタクを前橋市内全体でもっと利用してほしい。そのためにはマイタクや様々な交通を組み合わせる自宅から目的地まで運べる仕組みを作ります。ボタンを押すだけで迎えが来る仕組みを2022年までに構築します。前橋は政府からモデル都市に指定されています。



■下川淵の市民活動に感謝します

市民活動により家庭からのゴミの量が減り、なんと六供の清掃工場の改修工事の完了と同時に亀泉、大胡の2清掃工場の廃止することが可能になりました。これにより**3億円の費用が削減できます**。まさに市民活動の大きな成果です。民生児童委員の活動や生涯学習、スポーツ推進、公民館でのピンシアン体操や公園管理などのさまざまな活動を支える皆さんに感謝を申し上げます。

私は2期8年間、中林章議員、下川淵自治会連合会との協議を進めながら、下川淵地区の整備を推進してまいりました。その報告を申し上げます。



番号	道路等事業名	完成予定	番号	道路等事業名	完成予定
15	県道前橋玉村線(朝倉工区) バイパス整備	R6年度	44	(都)江田天川大島線(Ⅲ期) 道路新設	R6年度
34	(都)朝日町下阿内線 現道拡幅	R4年	53	市道00-101号線 現道拡幅	R3年度
35	(都)下川淵小北通線 現道拡幅	R4年	58	(都)南高校通線 現道拡幅	R8年度
43	(都)江田天川大島線(Ⅱ期) 道路新設	R3年度			

■農地の見直しを進めます

農業所得向上につながる農地集積集約・GPS導入・基地局設置を進め、所得向上の観点から農地の見直しを行い、所有者の意向に沿うように遊休農地の宅地化を推進していきます。

■学校内への児童クラブ設置や防犯灯の設置

○下川淵では学童保育の待機児童は12人おります。今後の日赤病院や道路開通に伴う児童増加を見込み令和2年度に下川淵小に放課後学童クラブコンテナハウス増設を行い受け入れ増を図ります。

しもかわふち児童クラブ	○	45
しもかわふち第二児童クラブ	○	74
しょうび学童クラブ		26

○は学校内に立地する場合 数字は利用人数

○29灯の自治会要望のうち通学路への防犯灯設置を早急に行います。

■教育施設の充実を図ります

下川淵小学校、第七中学校の施設整備に取り組みます。

前橋市は東京オリンピック パラリンピックのホストタウンです



山本りゅう 後援会事務所

〒379-2166 前橋市野中町386

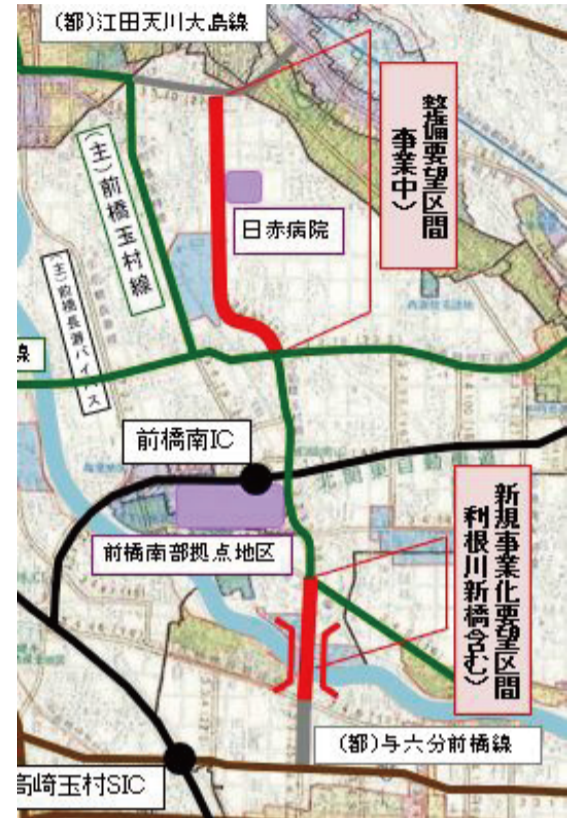
電話番号: 027 226-5803 FAX番号: 027-226-5812

下川淵版

ROUTE 前橋 市政継続

■道路整備を急ピッチで進めます

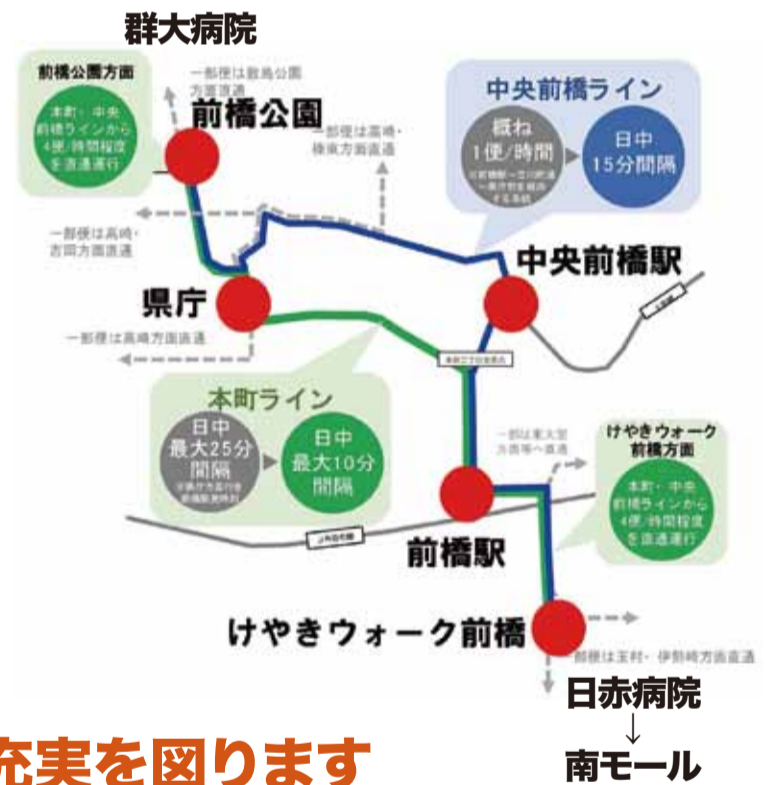
前橋日赤病院や南モールによる渋滞緩和や増加する児童生徒の交通安全確保に向けて急ピッチで道路の改良【鶴光路町内の朝日町下阿内線、下川淵小北通り、南高校通り線など】に取り組んできました。さらには前橋＝玉村線の工事と同時進行して前橋と群馬県に大きな経済効果を起こす利根川新橋の整備に群馬県・玉村町と取り組みます。



■交通の利便性を高めます

現在前橋市では上毛電鉄中央駅＝JR前橋駅＝けやきウォークを結ぶ自動運転バスの運行を行っています。2022年には群馬大学病院と日赤前橋病院＝南モールまでの延伸を目指します。このバス交通と裏面に記載しましたマイタクとの連携も含め通院や通学を支援します。

※自動運転バスを南モールから計画される新橋を通り玉村までの延長を玉村町長と合意しました。



■地域防災の充実を図ります

台風19号の体験から町内の防災体制を強化し水・電気・ガスが止まらないまちを作り上げます。さらに病院や避難所は無停電化を進めます。利根川ははじめ市内の河川のリスクを回避するために河川浚渫や、ダム貯留機能の確保、河川の樹木の伐採などを国に要請しました。



今後の前橋南部地区

- 30年後の所得向上に向けて、各インターチェンジを核にランドデザインを構築し、土地の再利用に挑戦し企業誘致を推進します。
- 前橋生まれ前橋育ちの子ども達が愛郷精神を携え、前橋で働ける環境を早期に具現化します。
- 他都市との都市間競争に勝つために、市民にみえる施策を実現します。